

ふくしま ME(基礎)
教科書の作成, 認定試験および課題の作成, 結果のとりまとめ要領

平成 29 年 12 月 11 日制定

1. ふくしま ME 基礎の修了認定のための教科書の作成, 認定試験, 課題の作成, および認定試験と課題の評価結果に対するとりまとめの考え方を示す。

【教科書の作成】

2. 教科書は, 全科目のうち以下に示す共通科目が 1 科目, 防災系の 4 科目, 構造物の保全系の科目 2 科目, 橋梁の保全系の科目として 7 科目を対象に作成する。

共通: 福島県の地形・地質

防災: 斜面崩壊・落石の概論, 点検と防護の基礎, 盛土・基礎地盤の崩壊・変形の概論, 盛土・基礎地盤の点検基礎と対策

保全(構造物): 舗装維持管理の基礎, トンネル維持管理の基礎

保全(橋梁): 構造力学/鋼橋の基礎, コンクリート橋の基礎, 橋梁メンテナンスの概論と福島県橋梁管理の基礎, 部材劣化の基礎, コンクリート橋の損傷, 鋼橋の損傷, 点検・診断の基礎

3. 教科書は, 対象科目における「ふくしま ME(基礎)」として修得が必要な目標(以後, 修得目標と呼ぶ)を定め, その修得に必要な構成, および内容とする。内容は, 分かり易い平易なものとする。

【認定試験および課題の作成】

4. 認定試験は, 全科目のうち教科書を作成した科目(共通科目: 1 科目, 防災系: 4 科目, 構造物の保全系: 2 科目, 橋梁の保全系: 7 科目)を対象に作成する。課題はそれら科目の中から, 自習による修得状況の確認が必要な基礎的科目について, 必要に応じて作成する。

5. 問題は, 対象科目における修得目標に対応する数, 作成することを基本とする。

6. 問題の形式は, 択一方式, 穴埋め方式を基本とし, 概論科目については, 前述の 2 方式に加え, 記述式を用いてもよい。ただし, 記述式の問題を作成した場合には, 他の修得目標に関する問題を 1 つにまとめるなどの対応を行う。

7. 課題の形式は, 記述式を基本とするが, 択一方式, 穴埋め方式を用いてもよい。

8. 各問題の配点は共通とする。

【結果のとりまとめ】

9. 認定試験および課題の総点が 100 点となるように換算した点数を, 修了認定の評価に用いる。